

平成 19 年度

第 38 回全国高等学校定時制通信制

柔 道 大 会

開 催 要 項

主催 (財)全国高等学校体育連盟・(財)全日本柔道連盟・
東京都教育委員会・(財)全国高等学校定時制通信制教育振興会
後援 文部科学省・厚生労働省・(財)日本体育協会・NHK・(財)講道館
日本武道館・日刊スポ - ツ新聞社・(財)東京都体育協会
全国定時制通信制高等学校長会・全国高等学校定時制通信制教頭協会
主管 全国高等学校体育連盟定時制通信制柔道部
東京都高等学校体育連盟・東京都柔道連盟

1. 期 日 平成 19 年 8 月 4 日(土)午前 9 時より
2. 会 場 講道館 〒112-0003 東京都文京区春日 1-16-30
03(3811)7152 代表

3. 試合規定 講道館柔道試合審判規定による。

4. 競技方法

(A) 団体試合(男子)

- (1) 試合時間は、リ - グ戦、ト - ナメント戦共に 3 分間とし、勝敗の判定は、「有効」および「注意」以上とする。
- (2) チ - ム対チ - ムの試合は、勝ち数および内容によって、勝ち、引き分けを決める。
- (3) 試合は、3 チ - ム 1 組としてリ - グ戦を行い、各組の勝ちチ - ムによりト - ナメント戦を行う。ただし、参加チ - ム数によっては、一部リーグ戦のチーム数を 4 チ - ム 1 組にする場合もある。その場合は、A - B、C - D、B - D、A - C の組み合わせにより各チ - ム 2 試合行うことを原則とする。ただし、4 チーム総当たりで試合を組んだ時に、各試合上の試合数の合計が他試合場の試合数とほぼ同じでかつ、他の試合場の進行を遅らせないと判断された場合は、総当たりで行うこともある。
- (4) リ - グ戦の順位の決定は、次による。
 - (ア) 3 チーム一組のリーグ戦における順位は、2 勝、1 勝 1 分、1 勝 1 敗、2 分、1 敗 1 分、2 敗の順で決める。
 - (イ) (ア) で同等の場合は、勝ち数の多い方を上位とする。
 - (ウ) (イ) で同等の場合は、「一本」勝ちの多い方を上位とする。
 - (エ) (ウ) で同等の場合は、「技あり」優勢勝ちの多い方を上位とする。
 - (オ) (エ) で同等の場合は、負け数のすくない方を上位とする。
 - (カ) (オ) で同等の場合は、抽選によって決める。(ア) 4 チーム一組のリーグ戦の順位は、 の(イ) ~ (オ) と同様とする。なおかつ順位同等で両チ - ムの対戦がない場合は、代表選を 1 回行う。勝敗の判定は、「僅差」以上とする。
 - (イ) 4 チーム総当たりのリ - グ戦の順位は、3 勝、2 勝 1 分、2 勝 1 敗、1 勝 2 分、1 勝 1 分 1 敗、1 勝 2 敗、3 分、2 分 1 敗、分 2 敗、3 敗の順で決める。順位同等の場合は、 の(イ) ~ (カ) に準ずる。
- (5) ト - ナメント戦の勝敗の決定は、次による。
 - (ア) 勝ち数の多いチ - ムを勝ちとする。
 - (イ) (ア) で同等の場合は、「1 本」勝ちの多いチ - ムを勝ちとする。
 - (ウ) (イ) で同等の場合は、「技あり」優勢勝ちの多いチ - ムを勝ちとする。
 - (エ) (ウ) で同等の場合は、代表戦を 1 回を行い、勝敗の判定は、代表戦に限り「僅差」以上とする。

(B) 個人試合

- (1) 出場選手は、男子については、3 階級体重別、各階級 1 名(開催地は 2 名)とする。女子の出場は 2 名以内、体重によりそれを 60kg 以下、60kg 超に分ける。女子に限って、両階級に各 1 名ずつでも、どちらか一方の階級に 2 名出場することも出来る。
- (2) 男子の体重区分については、65 kg 以下を軽量、65 kg 超 75 kg 以下を中量、75 kg 超を重量の 3 階級とする。
- (3) 女子の体重区分については 60kg 以下を軽量、60kg 超を重量の 2 階級とする。
- (4) 男子選手については、団体試合と重複してもかまわない。
- (5) 試合は、ト - ナメント戦とする。
- (6) 試合時間は、3 分間とし、勝敗の判定は、「僅差」以上とする。

5. 参加資格

- (1) 全国高等学校定時制通信制体育大会開催基準要項 13の(1)から(11)の規定を満たしていること。
- (2) 参加選手はあらかじめ健康診断を受け、学校長の承認を必要とする。
- (3) 以下の生徒の参加については認めない。

聴講生

当該校において、卒業を目的としない生徒
意図的な留年を繰り返し、競技種目を越えて連続で出場する生徒
通信制課程に所属し、高校生としての教育活動が著しく損なわれている者
別途定める「全国高等学校定時制通信制体育大会における個人情報及び肖像権に関する取扱い」の承諾を得られない者
参加費の未払いな者
その他、各競技専門部会が定める「定通大会」参加資格及び規定に反する者。
及び不良性行や大会運営上支障があると判断され、参加が不適切であると認められた者。

- (4) 以下の条件を満たすこと。

当該年度・財団法人全日本柔道連盟に登録された生徒。

- (5) 以下の条件に該当する生徒は、原則として参加を認めない。但し において特別な事情のある場合は、別途事務局で判断する。

当該年度に全国高等学校柔道大会及びその予選(地区大会)の出場者及び出場校。

平成 18 年 8 月 7 日から平成 19 年 8 月 3 日までに柔道の各種全国大会(高校生以上を対象とし、都道府県予選のある全国大会)に出場した生徒。

高等学校卒業の資格を有し、在学中に全国高等学校柔道大会、全国高等学校柔道選手権大会へ出場した生徒。

柔道の段位が、講道館四段以上の生徒。

6. 編 成

- (1) 各都道府県は、団体試合においては、1 チ - ムとし、開催地は、2 チ - ム選出することができる。また、1 チ - ムは、監督 1 名、選手 5 名、補欠 2 名以内とする。
- (2) 各都道府県は、個人試合において、男子の部は、監督 1 名、選手各階級 1 名、補欠各階級 1 名以内とする。開催地は、選手各階級 2 名、補欠各階級 2 名以内を選出することができる。女子の部は、監督 1 名、選手 2 名、各補欠 2 名以内とする。ただし、各部門の監督は、兼任することができる。監督は、校長の認める指導者とする。また、必要に応じ、コ - チをおくことができる。
- (3) 出場選手は、必ず引率者(校長が認める当該校の職員)によって引率される。引率者は、選手のすべての行動に対して責任を負うものとする。
- (4) 各都道府県予選は、各都道府県に任せるものとする。

7. 表 彰

- (1) 団体試合においては、1 位～3 位には賞状およびメダルを、1 位には優勝旗、財団法人全日本柔道連盟杯、文部科学大臣杯ならびに厚生労働大臣杯を授与する。
- (2) 個人試合においては、1 位～3 位には賞状およびメダルを授与する。
- (3) 石沢奨学会より理事長賞を授与する。
- (4) 参加者には、参加賞またはそれに代わるものを贈呈する。

8. 申込方法

- (1) 申込用紙に、必要事項を記入し、各都道府県高等学校体育連盟会長の承認を得て、申込先に提出する。

9. 申込期間 平成 19 年 6 月 29 日(金) 必着で書留にて郵送のこと
10. 申込先 **柔道大会事務局** **要項最終頁 枠内 参照**
11. 参加費 団体 1 千 - ム 23,000 円
個人 1 人(補欠分は不要) 2,500 円
を 6 月 29 日(金)までに振り込む。
*** 全国定通大会負担金 1,000 円(登録選手一人当たり)**
別紙の通り、各都道府県で全種目一括して全国定通大会負担金口座に納入する。また各都道府県種目別送金明細書は(財)全国高等学校体育連盟事務局まで郵送する。注) 団体・個人戦の補欠選手も大会登録選手として扱い、全ての大会登録選手に全国定通大会負担金が発生する。
12. 宿 泊
(1) 宿泊料金
監督、選手とも 1 人 1 泊 2 食付消費税込 7,875 円(本郷地区)
" 9,030 円(都内ホテル)
昼食代は別途 700 円(消費税込)
- (2) 申し込み方法
所定の用紙(宿泊申込書)に必要事項を記入し、各都道府県の責任者を通じて、平成 19 年 6 月 29 日(金)までに大会事務局まで申込むこと。詳細は、別紙宿泊要項を参照。
13. 振 込 先 参加費は、郵便局の口座に送金すること。
口座番号 00190 - 2 - 30205
(振込用紙の裏に内訳を記入すること)
口座名 全国高等学校定時制通信制柔道大会事務局
振込用紙のコピーを大会申込書に同封すること。
14. そ の 他
- (1) 審判会議は、大会当日 8 月 4 日(土)、午前 8 時 30 分より講道館にて行う。
 - (2) 監督会議は、大会前日 8 月 3 日(金)午後 4 時より講道館にて行う。
 - (3) 前日練習は、講道館内道場とする。8 月 3 日午後 12 時 30 分より行う。
(会場は当日掲示する)
 - (4) プログラム編成・組合せは、主催者側で行う。
 - (5) 選手の試合による直接の事故については、応急処置を施し、その費用を主催側で負担する。その後の処置については、責任を負わない。尚、選手は保険証(写し可)を持参すること。
 - (6) 申込後、参加者に変更が生じた場合は、所定の手続きを経たものに限りに、団体試合、個人試合とも監督会議前まで受け付ける。ただし、団体試合における選手の順番の変更は、認めない。また、個人試合男子における選手の階級変更は、認めない。
 - (7) 個人試合に出場する選手の計量は、8 月 3 日(金)午後 3 時から 4 時までの間に講道館 2 階会議室にて行う。ただし、特別に事情がある場合のみ、当日開会式直前までに計量をおこなうことができる。必ず事前に、事務局に申し出ること。
 - (8) 計量に失格した選手は、試合に出場することができない。
(2 日間にわたって計量を受けることはできない。)
 - (9) 計量に不正があった場合は、該当都道府県の出場を、団体試合、個人試合とも禁止する。
 - (10) 柔道衣には、各自でゼッケン(名字、県名入り)を着用して試合をすること。(詳細は最終頁の図参照)

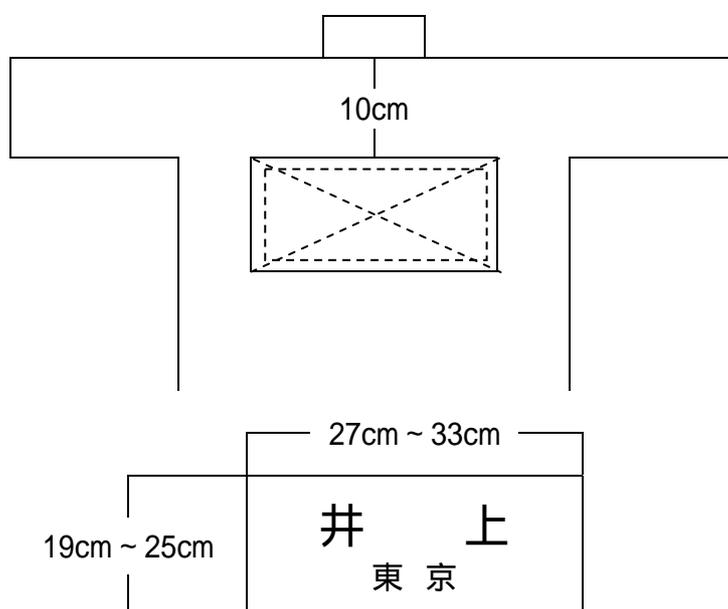
- (11) 出場選手は、必ず校医の診断を受けること。
(承諾書には、校医の捺印は不要)
- (12) 出場選手は必ず引率責任者によって引率され、引率責任者は、選手の行動に対して責任を負うこととする。

追加 ゼッケン詳細

布地は白地(晒(さらし) 太綾(ふとあや))
 サイズは横 30 ± 3 cm 縦 22 ± 3 cm
 名字(姓)は上側 2/3 県名は 下側 3/1
 文字は、男子黒色・女子赤色(太文字)横書きとする
 縫い付けの場所は後ろ襟から 10 cm 下

対角線にも強い糸で縫いつけする

例



第 3 8 回全国高等学校定時制通信制柔道大会 事務局

〒190 - 8583 東京都立川市泉町935番4

東京都立砂川高等学校 定時制内

事務局長 小池勝男

砂川高校電話 042 - 537 - 4611

砂川高校FAX 042 - 534 - 0525

E-mail: tjudojp@yahoo.co.jp